



## Press Release

2017年9月26日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 眞 鍋 淳  
( コ ー ド 番 号 4 5 6 8 東 証 第 1 部 )  
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長 石 田 憲 昭  
TEL 報 道 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1126  
株 式 市 場 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1125

### 海外における創薬共同研究公募 (TaNeDS Global 2018) の実施に関するお知らせ

第一三共株式会社 (本社：東京都中央区、以下「当社」) は、オープンイノベーションの施策の一環として、欧州およびアメリカ合衆国東海岸の大学、研究機関の研究者を対象に、創薬共同研究の公募 (TaNeDS\* Global 2018) を下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

\*TaNeDS : Take a New challenge for Drug discovery / タネデス

#### 記

##### 1. 経緯

当社はオープンイノベーションの施策のひとつとして、2011年度から日本国内アカデミアの研究者を対象に創薬共同研究公募 (TaNeDS) を実施し、2013年度からは、更なる創薬研究の可能性を求め、海外においても創薬共同研究公募を実施してきました。

2018年は、これらの経験と成果を踏まえ、昨年までの欧州の対象国に加え、アメリカ合衆国東海岸も対象とし、「TaNeDS Global 2018」を展開します。本プログラムを通じて、当社はより一層、海外の研究者との協同の機会を広げていきます。

##### 2. TaNeDS Global 2018 の概要

###### (1) 実施対象国・州

- ・ EU 諸国全域、アイスランド、スイス、ノルウェー、イスラエル
- ・ アメリカ合衆国東海岸：コネチカット州、デラウェア州、ワシントン D.C.、フロリダ州、ジョージア州、メイン州、メリーランド州、マサチューセッツ州、ニューハンプシャー州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、ノースカロライナ州、ペンシルベニア州、ロードアイランド州、サウスカロライナ州、バーモント州、バージニア州

(2) 応募対象研究

新規の創薬標的や検証研究、および新規創薬に繋がる革新的な技術研究

(3) 募集研究テーマ

①がん疾患

低分子医薬および生物製剤（抗体医薬等）の新規創薬標的研究など

②疼痛/感覚神経疾患

疼痛/感覚神経（眼、耳）疾患を対象とする新規創薬標的研究など

③心/血管/腎疾患

心・血管・腎を対象とする疾患の新規創薬標的研究など

④その他の内科系疾患

遺伝性希少疾患、腸内細菌叢が関連する疾患、脳梗塞、貧血等に対する新規創薬標的研究など

⑤細胞治療

新規の幹細胞研究、養子 T 細胞免疫療法に関する技術研究など

⑥革新的創薬技術および関連研究

核酸医薬、ペプチド医薬、遺伝子治療およびバイオマーカーに関する新規の研究技術など  
核酸医薬およびタンパク医薬技術が適用可能な新規創薬標的研究

詳細については、当社ウェブサイト内TaNeDS Globalページをご確認下さい。

<http://www.daiichisankyo.com/rd/taneds/index.html>

(4) 研究予算と研究期間

1件当たり最大年額7万5千ユーロ/ドル（+ 間接費）、もしくは15万ユーロ/ドル（+ 間接費）で、2年間の共同研究を予定します。

(5) 応募対象者

EU各国およびアイスランド、スイス、ノルウェー、イスラエル、アメリカ合衆国東海岸の大学、研究機関、新興企業などに籍を置く研究者で（国籍は問わず）、研究を当該国内で遂行可能な方。

(6) 選考方法

当社の研究者が研究ニーズとのマッチング、研究の独創性、将来性、医薬品創製につながる可能性などを基準に選考します。

(7) スケジュール

募集期間	:	2018年1月10日～2018年2月19日
一次選考期間	:	2018年2月下旬～3月中旬
二次選考期間	:	2018年4月
三次選考期間	:	2018年5月中旬
採択通知	:	2018年6月中旬
共同研究開始	:	2018年8月以降

3. TaNeDS Europe 2017 の選考結果について

選考結果は以下のとおり4件となり、契約締結後、共同研究を順次開始しています。

- |          |     |
|----------|-----|
| (1) 応募件数 | 56件 |
| (2) 採択件数 | 4件  |

採択された4件は、疼痛（デンマーク）、希少疾患（スペイン）、腸内細菌叢（ドイツ）及び技術（フィンランド）をテーマとするものです。

以上